

実質化された人・農地プラン

| 市町村名 | 対象地区名(地区内集落名) | 作成年月日 | 直近の更新年月日 |
|------|---------------|------------|----------|
| うるま市 | 南風原地区 | 平成25年2月26日 | 令和3年3月8日 |

1 対象地区の現状

| | |
|--------------------------------------|------------|
| ①地区内の耕地面積 | 46.07499ha |
| ②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計 | 26.9032ha |
| ③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計 | 8.2032ha |
| i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計 | 8.2032ha |
| ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計 | 0ha |
| ④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 | 0.8005ha |
| (備考) 中心経営体への農地の集積は、農地中間管理事業を活用する。 | |

2 対象地区の課題

| |
|--|
| 灌漑排水が整備されており、オクラの拠点産地にも認定されている農業が盛んな地域である。 担い手も十分いる一方で、新規参入が難しくなっている。 農地の幹旋が課題となる。 |
|--|

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

| |
|---|
| 中心経営体へ中間管理機構を通じ貸借を進める。 |
| 比較的若い担い手が多いが、耕作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入を促進することにより、将来的な担い手の高齢化に備える。 |